

## 令和元年分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」、「石油製品」などは増加したものの、「半導体等電子部品」、「プラスチック」などが減少したことから、対前年比 0.0%の横ばいとなった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「石油製品」などが減少したことから、同 7.7%の減少となった。

これにより差引額は、7,506億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	8,360億円	▲0.0%	1兆5,866億円	▲7.7%	▲7,506億円	▲14.9%
	横ばい		3年ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	396億円	+234.6%	輸入	増加品目	(1) 生ゴム	271億円	+7.8%
		(2) 石油製品	1,070億円	+20.5%			(2) 非鉄金属	46億円	+56.7%
		(3) 荷役機械	139億円	+193.9%			(3) 電気回路等の機器	88億円	+20.1%
	減少品目	(1) 半導体等電子部品	56億円	▲56.4%		減少品目	(1) 原油及び粗油	8,386億円	▲9.8%
		(2) プラスチック	563億円	▲10.4%			(2) 石油製品	572億円	▲18.2%
		(3) 鉱物性タール及び粗製薬品	411億円	▲13.8%			(3) 有機化合物	206億円	▲22.8%
地域別動向	増加：西欧、大洋州 減少：アジア、北米			地域別動向	増加：大洋州 減少：中東、アジア				

（参考）ドルレートは、109.08円（前年比1.3%、1.42円の円高）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年との比較による。